

Press Release

朝日新聞社と共同で、大学教育向け新聞記事活用サービス
朝日新聞  for Academy  提供開始

亜細亜大、実践女子大、帝京平成大、東洋大、長崎国際大の5校が導入

株式会社朝日ネット（東証一部、本社：東京都中央区、代表取締役社長：土方次郎）は、朝日新聞社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：渡辺雅隆）と共同で、朝日ネットの教育支援システム「manaba(マナバ)」と連携した大学教育向け新聞記事活用サービス「朝日新聞デジタル select for アカデミー」を開発し、本日から提供を開始しました。




「朝日新聞デジタル select for アカデミー」は、manaba にログインした画面から、朝日新聞の記事データベースと電子新聞の記事や紙面イメージが利用できるサービスで、教職員や在学生在が、さまざまな授業、研究、学習の中で、教材や資料の一つとして簡単に新聞記事を利用できるよう機能連携した、大学教育向けのオンラインサービスです。キャンパス内はもちろん、自宅や通学中でも、パソコンやスマートフォンでmanaba にログインすることで、いつでも利用することが可能になります。

大学教育の ICT 化が進む中、学生の主体的な学びを促進する「アクティブ・ラーニング」(※1)が注目されております。学生が学習や生活内で疑問に感じたことを、自ら調べ、理解を深める事で学習効果の向上が期待できます。本サービスでは、大学教育を実社会との関わりを意識した学びや、実社会の出来事や話題を題材にした学びへと広げるためのツールとして役立ててもらうことを目的にしています。(※1 文部科学省 中央教育審議会 用語集より抜粋)

提供開始にあたり、亜細亜大学、実践女子大学・短期大学部、帝京平成大学、東洋大学、長崎国際大学(五十音順)の5校に導入いただき、引き続き全国の大学へ販売していきます。

◆朝日新聞デジタル select for アカデミーについて

朝日ネットの教育支援システム「manaba(マナバ)」に、朝日新聞の記事データベース「聞蔵(きくぞう)」と有料電子新聞「朝日新聞デジタル」を連携させた大学教育向け新聞記事活用サービス。各サービスの概要は下記のとおりです。

	<p>レポート提出・回収、掲示板、資料配布等を行うシステムで、全国で200校以上の大学が導入しています。</p>
	<p>大学図書館、公共図書館向けの朝日新聞の記事データベース。全国の7割以上の大学図書館が導入しています。</p>
	<p>朝日新聞の有料電子版。朝夕刊の紙面イメージや速報ニュースをパソコンやタブレット端末、スマートフォンで読むことができます。</p>

◆利用料金と申し込み方法について

利用料金と申し込み方法の詳細は、株式会社朝日ネット 営業二部までお問い合わせください。

— 本件に関するお問合せ先 —

株式会社朝日ネット 営業二部

TEL : 03-3541-1911

E-mail : info@manaba.jp